

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成24年8月22日 (13:30~14:30)		
実施場所	市之沢集会所	参加人数	17人
参加対象	水沢市之沢地区・中在家地区		
市側の出席者	市長 市民生活課主任		
懇談内容	<p>【懇談要旨】</p> <p>1. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道除雪制度の見直しがあるが、除雪費用の住民負担を前倒しで減らしてほしい。 <p>A. 関口市長</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度、今年度は豪雪で、災害的用法が適用された。そのため住民負担率を下げた。今年度は制度の試行期間であるが、今年の冬も負担率を軽減できるよう努力したい。 <p>2. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家への原材料支給について、予算をもっと配分してほしい。高齢化も進み、生産組合などが田んぼなどをつくるときに活用できる。 <p>A. 関口市長</p> <ul style="list-style-type: none"> 原材料支給については、特別の補助金等はないが、必要な予算については確保していきたいと考えている。 <p>3. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊員をうまく活用しきれていないところがある。人口が減っていく中でどう地域おこしをしていくか、地域としても考えなくてはならないと思っている。 <p>A. 関口市長</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊員で、期間が終了しても十日町に就職したり、家庭を持ったりして、十日町に残ってくれる方もいる。事業としては成功したと思う。協力隊員それぞれが考えを持って動いてくれている。連携を密にとっていきたい。 <p>4. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年の水害で被災した羽根川の改修はどうなっているのか。また、JR飯山線の線路については。 		

A. 関口市長

- ・羽根川については、国の災害救助法が適用になったので、適用期間の4年間で対応していく。飯山線の線路については、基本的にはJR東日本が対応しており、改修完了は26年度と見ている。

5. 発言者

- ・JR東日本の共生策のSL運行はどうなったのか。

A. 関口市長

- ・11月の中旬を予定している。下条駅・中条駅に停車しながら、十日町駅に向かう計画だ。

6. 発言者

- ・市長の芸術祭の説明にあった物産のパッケージデザインは、芸術祭期間でないと依頼ができないのか。

A. 関口市長

- ・本日紹介したのは前回3年前の芸術祭のときのもので、地元の名産品を対象にしたリデザインプロジェクトである。次回に向けても、募集する予定であり、概要が決まりしだい市報等でお知らせする。